

3

学年

3観点に即した改善プラン

- ①知識及び技能
- ②思考力・判断力・表現力等
- ③学びに向かう力・人間性等

	最も課題のある観点	「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業における具体的な手立て	年度末評価(2月)
国語	②思考力・判断力・表現力 「書くこと」	全国学力学習状況調査や復習確認テストにおいて、作文に課題が見られた。「書き」の領域では、小論文や創作の単元で、構成を意識しながら漢字や語彙にも注意して書く課題に取り組ませる。	「書き」の領域において、課題と向き合いながら作文の力を向上させることができた。
数学	②思考力・判断力・表現力	ICTを活用することにより、考え方を比較し、よい点や改善点等をグループワークでの話し合い活動を通して共有する。また問題演習を通して、習得した考え方を利用し、その考え方を深めていくようにする。	問題演習を通して、個別最適な学習を進め、考え方を深めようとする生徒の姿が授業から見えた。
英語	②思考力・判断力・表現力	「話すこと(発表)」「話すこと(やりとり)」「書くこと」の活動に取り組む際、「個別最適な学び」の視点から、Step1～Step3の課題を習熟の程度に応じて、生徒自身に選択させる。それぞれの生徒に合った課題を提示して主体的な学びに繋げる。	「個別最適な学び」の視点から、自己調整ながら学びを進めることができた。思考力
社会	②思考力・判断力・表現力	歴史的分野・公民的分野において、資料等の読み取りを通して、自己の考えを表現ができるようにする。その内容を生徒相互で共有し、自分の考えを整理し、考察を深めていけるようにする。	資料の読み取りを通して、自己の考えが表現できるように、考察場面の設定を工夫した。
理科	②思考力・判断力・表現力	実験結果を科学的に分析し、規則性を見出すことを繰り返す中で、論理的思考力を伸ばす。話し合い活動を通して、既習事項をもとに考えを深めさせる。	実験結果を科学的に分析する授業を行い、思考力を高めることができた。
音楽	②思考力・判断力・表現力	合唱のパート練習では、数人のグループワークを取り入れ、音程のみならず、各パートの特性に応じた発声力の向上を目指す。また、ICT機器を活用して、歌唱表現におけるイメージの共有、録音をすることにより、自分の技術向上に役立てる。	パート練習では、グループワークやICT機器を効果的に活用することで技術力を向上させるようにした。
美術	②思考力・判断力・表現力	発想力について、個別の指導を重点的に行いながら、自己と向き合い粘り強く取り組む力を持って作品に生かせるように促していく。	対話を繰り返して、個別の指導をすることでより良い作品作りを行った。
保健体育	②思考力・判断力・表現力	男女共習の授業を行い、そのよさを意識して授業を充実させる。また、4人一組やグループでの話し合い活動を積極的に取り入れていく。 ICT機器や学習カードを活用し、振り返りの時間をつくり、話し合い活動の場を意図的に設ける。	男女共習の授業では、ICT機器や学習カードを活用しながら対話的な活動を行い、思考力・判断力・表現力を高めていくことができた。
技術家庭	②思考力・判断力・表現力	製作の授業では、グループ学習により教え合いや意見交換を促し、より深い学びを実現する。1人1台端末を活用し、資料を参照して自ら作業を選択したり、製作品の振り返り等をしたりする。 学習内容を実生活と結び付け課題を設定し、必要に応じてICT機器を活用し、課題を解決するための方法を考えられるようにする。また、4人一組やグループ学習の場面を設定し、考えの共有や深化を図る場面を意図的に設定する。	(技術)製作品の振り返り等の場面でグループ学習や端末の効果的な活用をすることで、深い学びの実現につながった。 (家庭)グループ学習など学習方法を工夫することで、考えの共有や深化を図ることにつながった。

